

TCM
Tokyo College of Music High School
東京音楽大学附属高等学校

東京音楽大学附属高等学校創立91周年

Tokyo College of Music
High School

TCM

音楽を主軸に、
自分らしさを解き放ち
クリエイティブに生きよう。

学校としての使命

変革の社会において、自分らしさをもちつつ規律と礼節を尊重することで、多様な分野とコラボレーションしながら、音楽を通して人生を直感で描くことのできるクリエイティブな人材を育てる。

私たちの教育的な価値

ポジティブに失敗しよう
多様性と共鳴しよう
自分を洞察しよう

美的衝動を鍛えよう
トレンドに敏感になろう

校長 小森 輝彦

音楽に関わりをもつ私たちは、音楽が好き、音楽に関心がある、もともと音楽と関わりがあった、などの入り口から音楽への愛情、共感をもち始めるケースが多いと思います。

音楽の現場をみていると、音楽を好きな人が圧倒的に多い職場だな、と思います。好きな事はやりたい事、と考えて英語の want という言葉に置き換えると、音楽家やスポーツ選手、YouTuber、ソーシャルビジネスなどは want の職業の代表格と言っても良い気がします。

物事に want の精神で取り組めることは素晴らしいことですね。楽しい、ということがまずありますが、それだけでなく、その行動の清々しさが増し、心や体への負担が減ることが素晴らしい。義務感、つまり must の精神で物事に取り組むのと、want で取り組むのではこの点で大きな違いがあります。

例えば、宿題を「やりたい」と思って want の精神でやるのと、「やらなければいけない」と思って must でやるのでは、「やりたい」と思う方が、清々しく、疲れを感じずに行うことができます。気分だけでなく、フィジカルに感じる疲れにも反映されることがしばしばです。want の方が、心にも体にも負担が少なく、楽になります。

ただこれは「宿題をやりたいと思わなくてはいけない」ということでは決してありません。何をしたいと思うか、これは自分にはコントロールできません。好きな

事は好きだし、やりたくない事はやりたくない。やりたくない事を「やりたいと思わなくてはいけない」と考えてしまったら、これはすでに must の精神になってしまっていますね。

やりたい事は自分で決められない。自分の心が、自分の魂が、あるいは自分の身体が判断することです。だから「やりたい事との出会い」はとても大切で、音楽に共感、興味、愛情をもっている人達は、とても幸運な状況にあるのです。

でも、音楽に深く関われば関わるほど、辛さも生まれて来ることがありますね。さらうのが面倒くさい、思った音が出ないとがっかりする、一生懸命やっているつもりなのに、先生に努力を認めてもらえない。既にそういう経験をおもちの方も多いのではないでしょうか。must と want の葛藤が起こります。

僕らの学校は、音楽が好きな若者がたくさん集まる場所です。つまり、そういう悩みを共有できる場所でもあります。音楽が好きだけれど辛い、うまく行かない。そういう悩みは、音楽に真剣に取り組んでいる人同士でしか共有できないことが多いですね。そして、当たり前ですが、音楽と共にある喜び、これも共有できます。共有すると喜びは倍どころか、累乗的に広がります。本校の生徒の皆さんが口々に聞かせてくれる言葉「音楽を同じ濃さで話せる仲間がすぐ側にいる！」がこれを証明していると思います。

好きな事をやっている、悩みがあってもそれを乗

り越えたいという気持ちが生まれます。仲間が居ればなおのことです。高いモチベーションで苦難を乗り越えるという経験を、音楽「で」体験します。

楽しく音楽と向き合えているときは、自由になります。遊ぶことができ、色々なことを試せるようになる。冒険ができる。失敗や失敗の後の結果を必要以上に恐れずに、様々なトライができるようになる。クリエイティブになることを音楽「で」体験します。

「音楽を軸に、自分らしさを解き放ち、クリエイティブに生きよう」この本校の教育ビジョンは、音楽を軸、つまり音楽を通じて、生命力、人間力を高めることを目指す我々の描く理想です。一緒にこの理想を目指しましょう。



充実した専攻と一流講師陣によるレッスン

声楽・ピアノ・弦楽器（ヴァイオリン／ヴィオラ／チェロ／コントラバス／ハープ／クラシックギター）・管打楽器（フルート／オーボエ／クラリネット／ファゴット／サクソフォーン／ホルン／トランペット／トロンボーン／ユーフォニアム／チューバ／打楽器）・作曲・音楽総合コースと、クラシック音楽を学びたい生徒にとって、充実した専攻が揃っています。各専攻の個人レッスンは全て大学の教授・講師陣により大学のレッスン室で行われるため、生徒は大学生のレッスンにも接することができます。また、レッスン以外の音楽専門科目（ソルフェージュ・音楽理論等）の授業も、大学と兼任の講師陣を交えて行っています。

高校・大学7年間の一貫した実技レッスンによる音楽教育

本校は、豊島区池袋にある東京音楽大学池袋キャンパス内に設置されており、高校・大学7年間の一貫した実技レッスンによる音楽教育を行っています。大学生と同じ環境下で学習する機会と高校と大学の講師陣が常に情報交換しあえる環境は、高校生が個性豊かに成長できる可能性を秘めています。

学びの特色

少人数制の授業

ソルフェージュ（聴音／新曲）・音楽理論、英語は1学年を3～5クラスに分けたグレード別の少人数制で、きめ細かく、また緊張感のある指導を行っています。語学教育にも力を入れ、ベテランのネイティブ・スピーカーの教師を含め、実生活に役立つ語学を学んでいます。また、音楽を専門に学ぶうえで必要な、ドイツ語・イタリア語・フランス語も第二外国語として用意しています。

充実したアンサンブル授業

オーケストラ・吹奏楽・合唱・声楽演習などのアンサンブル授業は、大学教授・講師陣と高校音楽科教員が協力して指導に当たり、発表の場としての演奏会も数多く行うなど大変充実しています。

音楽総合コース・セルフデザインクラス

既存の音楽総合コースのプログラムに加え、次世代に向けて自分をデザインできる力を育むことを目的に、特にDTM（デスクトップミュージック）等のデジタルツールを駆使する授業や、ILP（イノベーションリーダーシッププログラム）を通して、変革の社会において柔軟かつ独創的に自分をデザインできる力を学びます。

Values



吹奏楽演奏会（東京音楽大学池袋キャンパス）
Wind Ensemble Concert

東京音楽大学池袋キャンパス内の空間を活用し、
吹奏楽の響きが全体を吹き抜けた。



声楽専攻

あなたを解き放つ。

ドイツ・イタリア・フランス・ロシア・日本の歌曲、オペラ・オラトリオと多彩なレパートリーをもった教授陣により、豊富な経験を生かした高度なレッスンが行われています。発声法訓練の他、実際の作品を通して豊かな音楽性を身につけ、将来、日本はもちろん、世界の音楽界、音楽教育界を担う優秀なアーティストを育成することを目標としています。在校生・卒業生のコンクール等における活躍も目覚ましく、生徒同士がお互いに認め合い、切磋琢磨し合う環境を整えています。

主なコンクール実績

第71回（2017）全日本学生音楽コンクール 声楽部門 全国大会 高校の部 第3位

高野 月南

第72回（2018）全日本学生音楽コンクール 声楽部門 全国大会 大学の部 第1位・横浜市民賞

大高 レナ

第73回（2019）全日本学生音楽コンクール 声楽部門 全国大会 高校の部 第1位

老川 鈴唄

声楽の生徒のための音楽科目

声楽演習：モーツァルトの作品を題材に、オペラに必要なことを総合的に学びます。

合唱A：混声合唱の授業です。日本語の楽曲を中心に学びます。

合唱B：女声合唱の授業です。オペラ、ミュージカル等様々なジャンルを学びます。



講師陣はこちらをチェック

声楽 2年 N.N.さん

世界には様々なジャンルの歌がありますが、TCMHSで学べるクラシカルな声楽は全ての歌の基礎です。声楽を勉強すると、どのようなジャンルの歌でも上達することができます。

また、この学校では声楽演習という授業で、『フィガロの結婚』と『魔笛』に隔年で取り組んでいます。譜読みすることや台本を覚えることは大変ですが、これらの作品を完成させていくに従って、歌や演技だけでなく、1つのコンサートがどれだけの人に支えられて成り立っているかを学ぶこともできます。このような貴重な体験を高校生のうちにできるということは必ず将来の糧となると思います。



Voice



器楽専攻（鍵盤楽器）

究めても、究めても、究めても、

全ての音楽家が基礎として学ぶピアノ。そのピアノを学ぶのはヴィルトーソ演奏家として華やかにステージで活躍することを目指すのはもちろんですが、音楽そのものの本質を理解し、自身の感性を磨き上げることに他なりません。ピアノ 1 台あれば、1 人で様々なことを表現することができるピアノ独自の特性を生かすために、本校ではレッスンやアンサンブル授業、日々の練習や学校生活を通して、多様性と洞察力を磨きます。

ピアノ

ピアノを学ぶ生徒に、演奏技術や音楽性を身につけてもらうことを目的としています。オーディションに合格すればピアノ演奏家コースに転専攻することもできます。

ピアノ演奏家コース

ピアノをより深く追求し、研究する能力のある生徒のために設けられています。担当教員により各自に見合った課題が選ばれ、バロックから現代曲まで学ぶことができるように考慮されています。

ピアノ演奏家コース特別特待奨学生

ピアノ演奏家コースの中でも、特に才能があり、卓越した音楽性、技術を有する生徒のために設けられています。

ピアノ・創作コース

ピアノ正科の生徒と同様にピアノのレッスンを受けながら、作曲講師陣のもとで専門的に作曲を学ぶことができます。体系的に音楽理論を学ぶことで本格的に楽譜を書く能力が養われます。

ピアノの生徒のための音楽科目

ピアノアンサンブル：連弾や2台でのピアノ演奏を通して、2人で音楽表現を創り上げることについて学びます。

アナリーゼ：楽曲分析を通じて作品を客観的に理解し、演奏に生かすことを学びます。

伴奏法：歌と器楽の伴奏を通してアンサンブルの耳を養い、伴奏の役割を学びます。

ピアノ演奏家コース 3年 H.N.さん

本校では、TCMの教授や講師の先生方からレッスンを受けられます。先生方はとても面倒見良く、熱心に指導してくださいます。海外の著名なピアニストからレッスンを受けられたり、私は光栄なことに、サントリーホールの大ホールで弾く経験もいただくことができ、とても勉強になりました。音楽科目以外の一般科目の先生方も演奏活動への理解があり、勉強との両立がしやすいです。選択授業も充実していて、様々な年齢・楽器で、仲間とアンサンブルを学ぶことがとても楽しいです。大学内の録音スタジオで収録をすることもできたり、最新の学校設備にも満足しています。この高校に入学し、たくさんの経験により学びが確実に自分の力になっているのを感じています。



講師陣はこちらをチェック

Piano



宇宙の果てに届く響き

200年から300年前に楽器、演奏スタイルともに確立された弦楽器。その魅力は、ソロだけでなくさまざまな編成のアンサンブルで発揮されます。1つ1つの弦から奏でられる豊かな響きやあとに続く残響は、時に観客を音楽で包み込む魅力を放ちます。あなたの音楽性を通して、個性を創り出しましょう。多くの楽器の1つとして協調性を意識しながら、個性にも磨きをかけ、音楽家としても人としても、多様性とコラボレーションできるよう、あなたの創造性を本校で磨き上げます。

主なコンクール実績

第82回（2013）日本音楽コンクール ヴァイオリン部門 第2位	辻 彩奈
第86回（2017）日本音楽コンクール ヴァイオリン部門 第2位	外村 理紗
第88回（2019）日本音楽コンクール ヴァイオリン部門 第2位・岩谷賞（聴衆賞）	前田 妃奈
第18回（2020）東京音楽コンクール 弦楽器部門 第1位・聴衆賞	前田 妃奈
第90回（2021）日本音楽コンクール ヴァイオリン部門 第3位	竹内 鴻史郎
第91回（2022）日本音楽コンクール ヴァイオリン部門 第1位	渡邊 紗蘭
第76回（2022）全日本学生音楽コンクール 全国大会チェロ部門 高校の部 第1位	藤原 寛太

弦楽器の生徒のための音楽科目

オーケストラ：主に古典派からロマン派に至る作品を取り上げ、合奏の基礎を学びます。

弦楽器室内楽：主に弦楽四重奏を組み、グループ毎に指導を受け、アンサンブルの基礎を学びます。

ハープ・クラシックギター室内楽：大学の合奏授業に参加し、大学生と共に同属楽器によるアンサンブルを学びます。



講師陣はこちらをチェック

個人レッスンでは、大学の先生方の指導を直接受けることができます。技術、表現などを通して、今の自分に何が足りないのか、どうすればより良い演奏ができるようになるかを丁寧に教えてくださいます。また、室内楽やオーケストラの授業も沢山受けることができます。授業前は冗談を言い合っている友達同士も、授業ではみんな一人の演奏家として曲に向き合っていきます。そして、仲間と共に演奏する楽しさや難しさを経験しながら、時には遅くまでの練習も重ねて、幾多の本番を乗り越えていきます。音楽を学ぶ上で充実した環境が整っているだけでなく、いつでもみんなで笑い合える空気感も魅力的です。音楽を学ぶ上で特に重要とされている高校3年間。ここでしか味わえない喜びと楽しさを、ぜひ体感してみてください！



Strings



器楽専攻（フルート／オーボエ／クラリネット／ファゴット／サクソフォン／ホルン／トランペット／トロンボーン／ユーフォニアム／チューバ／打楽器）

世界に鳴り響く Beat、温かな Breath にのせて。

様々な音楽作品とともに音色や奏法、表現を発展させてきた管打楽器。その魅力はほかの楽器と共に創り上げる音楽です。小編成のアンサンブルから、吹奏楽、オーケストラと様々な編成で多彩な魅力を発揮するために、自らの役割やハーモニーを多角的に理解する洞察力と視野の広さ、そしてそれを細密に表現するための技術力を本校で身につけます。

木管楽器：フルート／オーボエ／クラリネット／ファゴット／サクソフォン

レッスンは、音楽的表現や各楽器のもつ特色を磨き、テクニックと共に、豊かな響きが得られることを目標に指導します。また、オーケストラ・吹奏楽・室内楽を通して、他の楽器とのアンサンブルを体験し、それぞれの楽器の役割や合奏の基礎を学びます。

金管楽器：ホルン／トランペット／トロンボーン／ユーフォニアム／チューバ

レッスンは、エチュード、ソロ曲、オーケストラ・吹奏楽作品を学年、個人の能力に応じてきめ細かく指導します。曲の選定も特定の時代に偏ることなく、様々な分野に対応できる実力を身につけることを目指しています。また、オーケストラ・吹奏楽・室内楽を通して、他の楽器とのアンサンブルを体験し、それぞれの楽器の役割や合奏の基礎を学びます。

打楽器

複数の教員が専門実技を担当しており、生徒は各自の意思により教員を選択できます。レッスン内容は、一般的な打楽器（ティンパニ／小太鼓など）と鍵盤打楽器（マリンバ）の双方が必修となっています。また、オーケストラ・吹奏楽・室内楽を通して、他の楽器とのアンサンブルを体験し、それぞれの楽器の役割や合奏の基礎を学びます。

管打楽器の生徒のための音楽科目

オーケストラ：主に古典派からロマン派に至る作品を取り上げ、合奏の基礎を学びます。

吹奏楽：自分の発信したい音楽を考え、合奏の中でそれを具現化することについて学びます。

管打楽器室内楽：大学の合奏授業に参加し、大学生と共に同属楽器によるアンサンブルを学びます。

フルート 3年 N.K.さん

大学の先生方のレッスンでは、技術面はもちろん、曲をどのように演奏していくか、細かく丁寧に話合ってくださいます。そして私たちはソロだけでなく、オーケストラ、室内楽、吹奏楽と、アンサンブルの授業が多くあります。ソロと違った難しさもありますが、様々な演奏会に向けて仲間と音楽を作っていく時間は、とても充実していて楽しいです。ここでは、自分の楽器の先生だけでなく、様々な楽器の先生方からのご指導をいただけるため、多方面から音楽の知識を身につけることができます。



講師陣はこちらをチェック

Wind Percussion



作曲専攻

音符で歴史を紡ぐ。

自らのもつ世界観をアーティストとして音楽でカタチにする作曲家。これまでの伝統を大切に継承しながら、これからの音楽のあり方を見据えて作曲するために、知識はもちろん多角的な視野と創造性を必要とします。本校では充実した教員陣のもと、それぞれの生徒のニーズに合わせて、古典から現代に至る作曲技法を総合的に学びます。そしてそれら芸術音楽をベースにしながら、希望する生徒に対しては、劇音楽やゲーム音楽など多様なメディアに対応した創作のための指導ができる体制を整え、各自が目標とする分野のレッスンを自由に受けることができます。

東京音楽大学に学校推薦型選抜で進学する場合には、作曲指揮専攻（芸術音楽コース）に推薦されることとなりますが、作曲指揮専攻（ミュージック・メディアコース）への転専攻も可能です。第3学年に進級する際にオーディションに合格することで、ミュージック・メディア準備コースに入ることができ、作曲専攻（ミュージック・メディアコース）への転専攻試験に向けたより専門的な学習の機会が用意されています。

作曲の生徒のための音楽科目

アナリーゼ：楽曲分析を通じて作品を客観的に理解し、演奏に生かすことを学びます。

作曲活動に役立つ種々の学習機会

吹奏楽：初心者でも履修することができます。各パート別に楽器の基本的な奏法から学びます。

合唱：混声合唱、女声合唱の授業に分かれ自然な発声のための姿勢や呼吸法など学びます。

伴奏法：歌と器楽の伴奏を通してアンサンブルの耳を養い、伴奏の役割を学びます。



講師陣はこちらをチェック

作曲 2年 Y.S.さん

本校には、自分の将来に希望をもって、熱烈に音楽を学べる気風があります。

それは「個」を尊重し、真摯に教えてくださる師と、お互いに高め合える仲間がいるからです。

また自分の曲が仲間に演奏され、1人の音楽家としての責任感と喜びを感じる機会が数多くあります。

実践的な場を踏むことは作曲への意識を奮い立たせます。どんな音楽をつくりたいのか、自らに問いかけ、試行錯誤しながら、日々音楽に向き合っています。



Composition

音楽総合コース

文化の伝導師、集う。

自己表現の形式を身につけながら、探求意欲を養うことが目標です。

小論文

バラエティーに富んだ ジャンルの学習

リトミック

音色やニュアンスなどをより細やかに深く感じ取り、表現することを身につけます。

指揮法

指揮についての基礎的なテクニックについて学びます。

音楽総合コース特別講座

音楽関連の仕事がされている様々な分野の方をゲストに迎えての特別講座です。また、ホール見学などを行い、コンサートを行う上での舞台裏についても理解を深めます。

コンピュータと音楽

シンセサイザーの基本的な操作方法を学びます。第一線で活躍を続けている講師陣が授業を担当します。

音楽療法

音楽療法の基本的な情報を知ることや関連するワークの体験を通し、私たちを含む様々なコンディションの人々のwell-being（よい在りかた）に向け、音楽をどのように用いるか考えていきます。

ピアノ演習

ピアノを用いた合唱指導法を習得します。またピアノの演奏表現、演奏指導の在り方について模擬授業・ロールプレイを通じて学びます。

音楽総合コースってどんなコース？

どんな人が？
将来、音楽関連の仕事に進みたいと思っている人が・・・

どんな目的で？
音楽の基礎的な能力を身につけ、将来、様々な場面で活躍できるように・・・

何を学ぶの？
音楽を幅広く総合的に学びます！

どんな特徴があるの？

音楽教育の現場で指導するためには広範囲の知識、経験が必要となります。複数の実技を履修することによって、希望する楽器の知識を得る機会を設けています。

様々な状況に対応できる能力を養うために、音楽総合コースでは他の専攻とは違う、下記の特徴があります。

- 1 2つ以上の実技を学びます！
- 2 独自のカリキュラムがあります！！
- 3 多くの体験的学習を授業に取り入れています！！！！

音楽総合コース特別講座詳細

文化の伝導師として社会で活躍するために、視野を大きく広げる機会を用意しました。

演奏者以外の立場で音楽と携わって活躍するゲストを迎えての講座や、一般教科の教員と一緒に音楽科の教員とは異なる目線から音楽の可能性を読み解き社会への貢献について考えるワークショップを展開します。

インプットとアウトプットの繰り返しを通して確かなスキルを身につけ、自分を見つめ直し、音楽と携わる者としてどのような活躍をしたいか未来像を描きましょう。

試験科目

推薦入学試験：作文・面接・専攻実技

一般入学試験：英語・国語・数学・楽典・ソルフェージュ（聴音またはコールユーブンゲン）・専攻実技

音楽総合コース 2年 N.S.さん

私は音楽の教師志望なので、様々なことが学べるこの音楽総合コースに魅力を感じ、受験を決めました。入学してみると、1年生のカリキュラムだけで、コンピュータ音楽や伝統楽器、音楽療法などとても広い知識を得ることができました。学年が上がるにつれて履修できる授業が増え、ピアノ演習や指揮法なども学べるので今から楽しみです。そして、音楽総合コースの最大の魅力は第二実技が履修できることです。第二実技は副科とは違い、本科と同じように扱われます。例えば、私は第一実技でピアノ、第二実技で打楽器（スネアドラム・マリンバ）を履修していますが、この場合、ピアノと同じレッスン時間で打楽器のレッスンが受けられます。練習の両立は難しいですが、好きな楽器が多く学べて充実しています。



Music Comprehension

あなたも、クリエイター。

私たちは、何かを表現してみたい、つくってみたい、クリエイティブになりたいという創造への意欲をもった皆様に、新しい学びの場を用意しました。

このクラスに入るために必要なものは、あなたの表現したいという意欲だけ。

本校にはこうでなければならないという固定観念はありません。常識や偏見を忘れ、本来の自分と向き合い、人間性と創造性を高める学びを追求しました。

これから音楽を始める人も、音楽経験の浅い人も、1人1人の個性と経験と学ぶ意欲をを尊重していきます。

音楽を始めることで、創造への道が開けます。私たちと音楽を始めましょう。

既に進学先が決まっている皆さんも、未だ決まっていない皆さんも、是非、門扉をたたいてみてください。本校ではそのチャンスを用意して皆さんをお待ちしています。

セルフデザインクラスコンセプト

音楽総合コース内に「セルフデザインクラス」を新設しました。このクラスは『感性を育み、自分が実現したい未来を描き、それを構築できる力をもった人材の育成』を目標としています。自分自身が興味をもっている分野やテーマを選び、自己表現の方法を探求することができます。様々な分野の学びを融合させながら、自分なりのアイデアを創造し、実現することを目指しています。自己表現をするだけでなく、社会問題や地域の課題などを解決するために、自分たちの創造力や力を社会に向けて発揮することも重視しています。自己実現のためのスキルを身につけながら、社会に貢献することができる人材に成長させるプログラムを用意しました。

また、入学の段階では音楽に関する能力や知識がなくとも、3年間で音楽大学に進学できるレベルの基礎力を身につけることができます。実技はピアノと作曲を中心に学び、音楽を使って社会で幅広く活躍するためのスキルを会得します。

特徴的なカリキュラム・プログラムの一部

作曲創造

基本的な作曲技法や、デジタルデバイスを用いた音楽制作（通称デスクトップミュージック）を学びます。1人1人の進度に合わせたレッスン形式で行われる授業です。第一線で活躍を続けている講師陣が授業を担当します。

イノベーションリーダーシッププログラム

変革の社会において自分らしくしなやかに、柔軟に生きるために必要なマインドセットと実行力を養うためのプログラム。デザイン思考などを活用して課題解決や問いを立てる力を育てます。

特別講座と研究発表

建築家やデザイナー、実業家など様々な分野の専門家を招聘した特別講座を通して、テクノロジーの発展やトレンドの移り変わりなど、世界を構築するあらゆる物事への知見を広げます。その上で自分だけの研究テーマを設定し研究を深め、卒業時に発表の機会を設けています。

試験内容

推薦入学試験：作文・面接・自己PR

一般入学試験第1回：一般学科（英語・国語・数学）・作文・面接・自己PR

一般入学試験第2回：作文・面接・自己PR

音楽総合コース・セルフデザインクラス2年 H.H.さん

皆さんこんにちは。さて、皆さんは「創造」と聞いてどんな物だと思うのでしょうか。私はこのクラスに入るまで単に「0から1を作り出すこと」だと思っていました。

ですが日々もそう上手くは行かず、自分の中の創造とは何か考え直しました。そこで「0から1を」とは少し受動的な考えなのではないかと思ったのです。では「創造」の本質とは何か。私は「自分に欠けているものを欲すること」この能動性だと考えます。

ですが人により達する答えは違うはず、それを見つけようとするのもまた創造の1つの形だと思います。物事を多角的な視点から見る機会に富んだこのクラス。ぜひ皆さんも満足することなく、一緒に創っていきましょう。



SDCC

ソルフェージュ

ソルフェージュは音楽家として自立するために必要な能力を養うための科目です。基礎的な読譜力を養うだけでなく、楽曲の構造、形式などを楽譜から読み取る能力を習得します。音楽作品をより深く理解し、自身の演奏においても作曲家の意図を把握してより表現力のある演奏家になることを目指して、本校ではソルフェージュ教育に力を入れています。

聴音（1年次～3年次）

主に、「単旋律聴音」、「対位2声聴音」、「和声聴音」の3種類の課題を聞き取り、楽譜上に正しく書き表すことを学びます。旋律の動きに伴う和声や対旋律の変化を正しく認識し、楽譜に書き表すことや和声進行について学びます。

新曲（2年次～3年次）

初めて見る楽譜から音楽を正確に読み取り表現することを学びます。演奏家にとって必要な、楽譜から即座に音楽を読み取り、その音楽を演奏によって表現する力を育てます。和声進行や曲の形式にも着目し、より深い音楽表現を目指します。

コールユーブンゲン／ア・カペラ

歌唱を通して基本的な音楽表現を学びます。

リトミック

楽典・他のソルフェージュ科目で学んだ知識を整理し、「音として感じる」ことを目指します。



コードネーム（1年次）

メロディーに適切なコード（和音）をつけるための理論を学び、弾き歌いを実施します。コードネームの知識と即興的な演奏技術を身につけます。ポップスやジャズなど、クラシック以外の音楽にも役立てることができます。

和声（1年次～2年次）

調性音楽を基にした機能和声を学びます。四声体に集約された和声を学ぶことにより、音楽の仕組みや規則を知ることができ、音楽を理解することができるようになります。また演奏する楽曲の和声分析を行うことにより、より楽曲を把握した演奏することができます。

音楽理論（3年次）

作曲・編曲・オーケストレーション・ジャズ・音楽劇など

生徒それぞれが希望した分野の授業を履修します。1・2年次の授業で得た知識を生かして、より実践的な内容に取り組みます。自分が音楽家としてどのように活躍していきたいかを考えると共に、そのために将来役立つ知識と技術を身につけることができます。



ソルフェージュの授業を視聴できます。

Solfège Theory

卒業後の進路

内部推薦で東京音楽大学へ

第一志望合格率

90%以上

東京音楽大学への内部推薦制度

東京音楽大学付属高等学校では、東京音楽大学へ学校推薦型選抜（内部推薦）により進学ができます。

推薦資格（※2023年度参考）

①高校で所属していた同専攻・同楽器

②高校3年間で基準以上の評定平均値を修める

③高校3年生の春学期実技試験成績（7月に実施）

※上記②③の成績を東京音楽大学内で審査し合否を判定します。

※「音楽総合コース」は「東京音楽大学音楽文化教育専攻」へ推薦。

※実技試験を別途受験することにより他専攻・楽器への転専攻も可能。

本校へ進学するメリット

1 大学進学も安心

- ・学校推薦型選抜で東京音楽大学へ
- ・受験勉強の時間を他の学びに使える
- ・現役での大学進学の可能性が高い

2 コストパフォーマンスが良い

聴音、コールユープンゲン、レッスン代、楽典...
など、受験には様々な費用がかかり、
最終的に公立校と本校では、経済的差が少ない。

高大7年間の音楽一貫教育による音楽家の育成

過去3年間の進学実績

	2020	2021	2022
東京音楽大学	80.7%	83.7%	90.9%
他音楽大学・他大学	10.8%	10.4%	5.1%
専門学校	2.4%	0.0%	0.0%
留学・留学準備	3.6%	2.3%	1.2%
就職	0.0%	0.0%	0.0%
受験準備・未定	2.4%	3.5%	2.5%

過去3年間の他大学進学先

東京藝術大学	洗足学園音楽大学
日本大学	愛知県立芸術大学
慶應義塾大学	大阪教育大学
大阪芸術大学	国立音楽大学
武蔵野音楽大学	上智大学
駒澤大学	共立女子大学
大分県立芸術文化短期大学	創価大学

直近の海外進学先

- モスクワ音楽院
- Yong Siew Toh Conservatory of Music
- ローザンヌ高等音楽院
- リヨン国立高等音楽院
- リュエィユマルメゾン地方音楽院
- 上海音楽学院
- ヘルシンキ芸術大学
- クイーンエリザベスミュージックチャペル

入学試験・学費

2024年度一般入学試験 第1回

日程：2024年2月10日（土）・11日（日・祝）試験、12日（月）発表

募集定員：第1学年40名、第2学年編入学若干名

募集専攻：声楽／ピアノ／ピアノ・創作コース／ピアノ演奏家コース／弦楽器／
管打楽器／作曲／音楽総合コース／
音楽総合コース・セルフデザインクラス

試験科目：英語／国語または数学／楽典／聴音／
コールユープンゲン／専攻実技／副科ピアノ（声楽・作曲のみ）

※音楽総合コース、音楽総合コース・セルフデザインクラスについては専攻ページをご覧ください。
※実用英語技能検定準2級以上の資格を有する者は「英語」の試験を免除します。
※各専攻の課題曲については、2023年6月にWebサイトで発表する
「2024年度入学試験科目と課題曲」をご覧ください。

2024年度一般入学試験 第2回

日程：2024年3月2日（土） 募集定員：若干名

募集専攻：音楽総合コース・セルフデザインクラス 試験科目：作文・面接・自己PR

出願及び発表、その他

- ・一般入学試験・推薦入学試験とも、Web出願、
Web発表になります（本校Webサイトに要項及び結果を掲載）。
- ・「入学試験要項」は2023年10月にWebサイトで発表いたします。

入学後の諸経費 ※2023年度参考

- 学費：885,000円（※入学時分納614,000円）【内訳：入学金120,000円、授業料（年額）542,000円、その他諸経費223,000円】
- 制服：男子87,750円～ 女子104,840円～（制服は全て学校指定になります）
- 体操着：31,600円～（※男女同デザインで学校指定になります）
- 給食費：60,000円～65,000円（※本校では、給食制度により全校生徒に昼食を提供いたします）
- 補助教材費：40,000円～70,000円
- 校外学習費：77,000円（高校2年次必修）

2024年度推薦入学試験

日程：2024年1月22日（月）試験、23日（火）発表

募集定員：第1学年30名

募集専攻：声楽／ピアノ／ピアノ・創作コース／ピアノ演奏家コース特別特待奨学生／
ピアノ演奏家コース／弦楽器／管打楽器／作曲／音楽総合コース／
音楽総合コース・セルフデザインクラス

試験科目：作文・面接・専攻実技

海外帰国子女特別入学試験・外国人特別入学試験

帰国子女のための「海外帰国子女特別入学試験」と外国籍の方のための「外国人特別入学試験」を行います。詳細は2023年7月にWebサイトで発表いたします。

奨学金制度

【本校独自の奨学金】
東京音楽大学付属高等学校では、学業成績が優秀な生徒への褒賞として下記の奨学金制度が設けられています。毎年、成績により本学より選出されます。
○給費入学奨学金（新入生対象） ○特待生奨学金（2・3年生対象）
【その他の奨学金】
東京音楽大学付属高等学校では、各種の奨学金制度の案内・手続きを支援します。
就学支援金・授業料軽減制度・入学支度金制度・育英資金など

たかまとは、
ともじすごう。



登校	● 8:00
HR(月曜-金曜)	● 8:30
1限スタート	● 8:40
2限スタート	● 10:15
お昼休み	● 11:35
3限スタート	● 12:40
専攻別授業 実技レッスン	● 14:30

講習会・学校説明会

音楽高校受験のためには準備が大切

TCMHSは、受験生の勉強の手助けをしています。
中学校の授業では学ぶことができない、音楽の専門知識を身につけることができます。

2023年度受験講習会 受験生には講習会を受講することをお勧めします（クラス分け試験など、実践的な経験ができます）。

【日程】○夏期受験講習会：2023年8月1日（火）～4日（金） ○冬期受験講習会：2023年12月23日（土）～26日（火）
【対象】○中学1年生～中学3年生
【受講科目】○専攻実技のレッスン2回（声楽・作曲志望者にはオプション料金で副科ピアノのレッスン1回）○楽典 ○聴音 ○コールユーブンゲン ○英語 ○国語 ○数学（※一般教科は中学3年生のみ）
【要項発表】○夏期受験講習会：2023年6月以降 ○冬期受験講習会：2023年10月以降 ※詳細はWebサイトで発表いたします

2023年度無料体験会 初心者大歓迎です（音楽高校の勉強を体験できます）

【日程】○秋期無料体験会：2023年9月16日（土）
【対象】○小学5年生～中学3年生【受講科目】○楽典 ○聴音
【要項発表】○秋期無料体験会：2023年9月以降 ※詳細はWebサイトで発表いたします

2023年度音楽基礎教育コース 聴音・楽典を勉強したいけれど、勉強方法がわからない・・・！ 指導者が見つからない・・・！ そんな受験生のための講座です。

【日程】○春期音楽基礎教育コース：2023年4月15日（土）～7月8日（土）／全12回 ○秋期音楽基礎教育コース：2023年9月16日（土）～12月16日（土）／全12回
【対象】○中学1年生～中学3年生【受講科目】○楽典 ○聴音
【要項発表】○春期音楽基礎教育コース：2023年3月以降 ○秋期音楽基礎教育コース：2023年8月以降 ※詳細はWebサイトで発表いたします

2023年度進学相談会

○6月3日（土）文京区にゆかりのある私立中高連合進学相談会
○8月1日（火）夏期受験講習会初日 ○8月19日（土）／20日（日）東京都私学展
○12月23日（土）冬期受験講習会初日

学校見学・個別相談 学校のことを聞きたい！学校を見学したい方へ！TCMHSでは随時学校見学を受け付けています！！

随時学校見学・個別相談を行っています。予約制となりますので、希望者はTCMHSに電話かメールにてお問合せください。
Zoomでの相談も可能です。(TEL. 03-3988-6214 Web <https://www.tcm-koko.ed.jp/>)

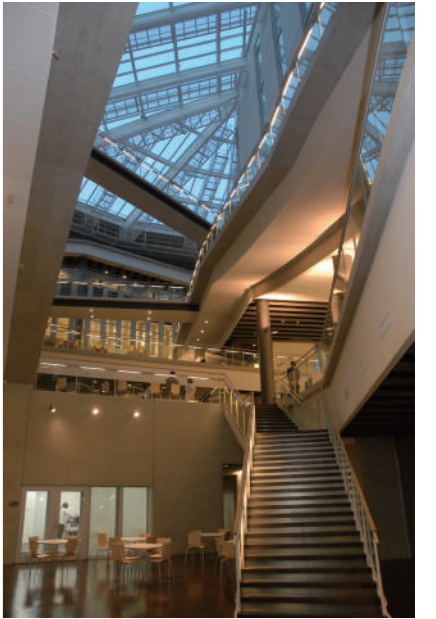


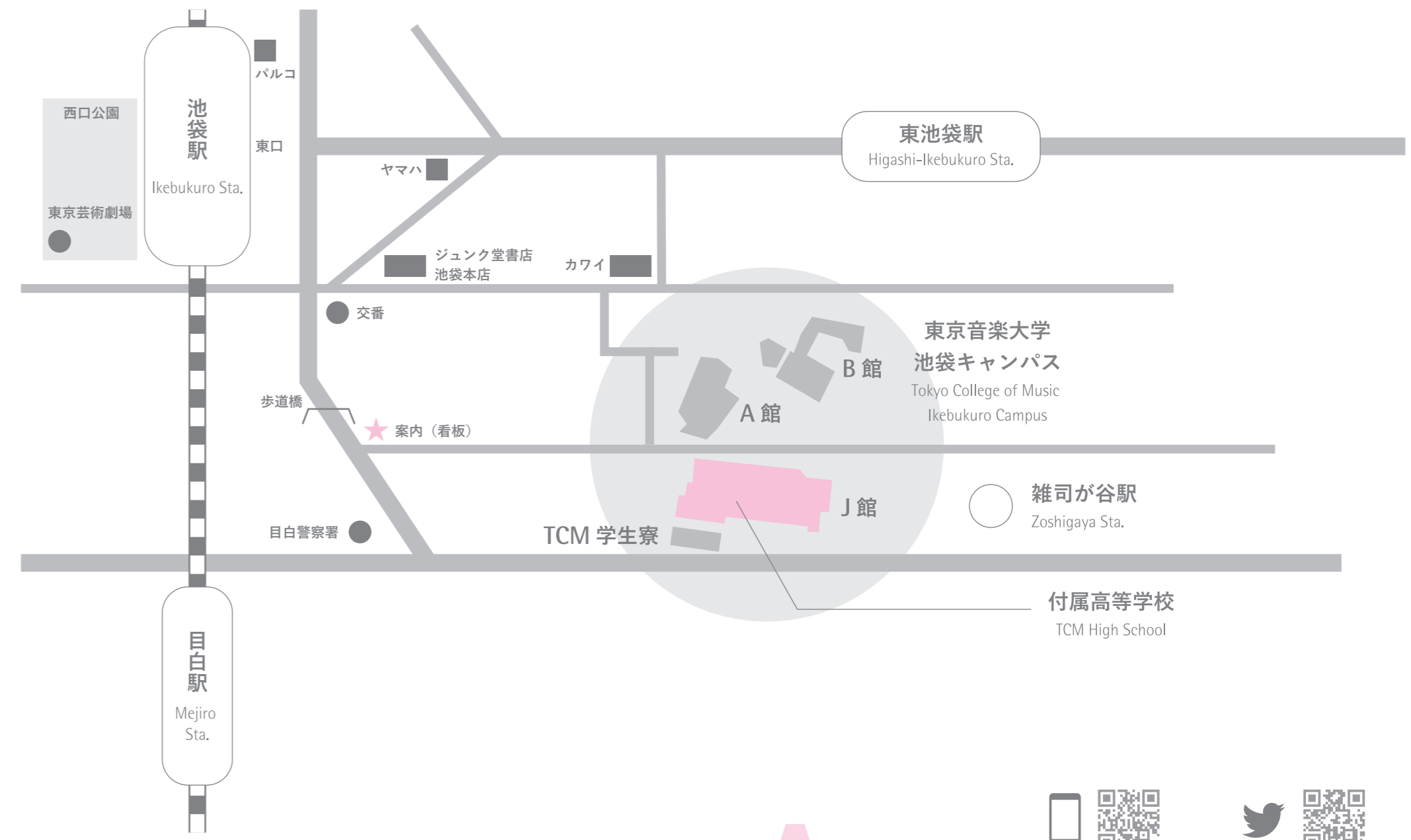
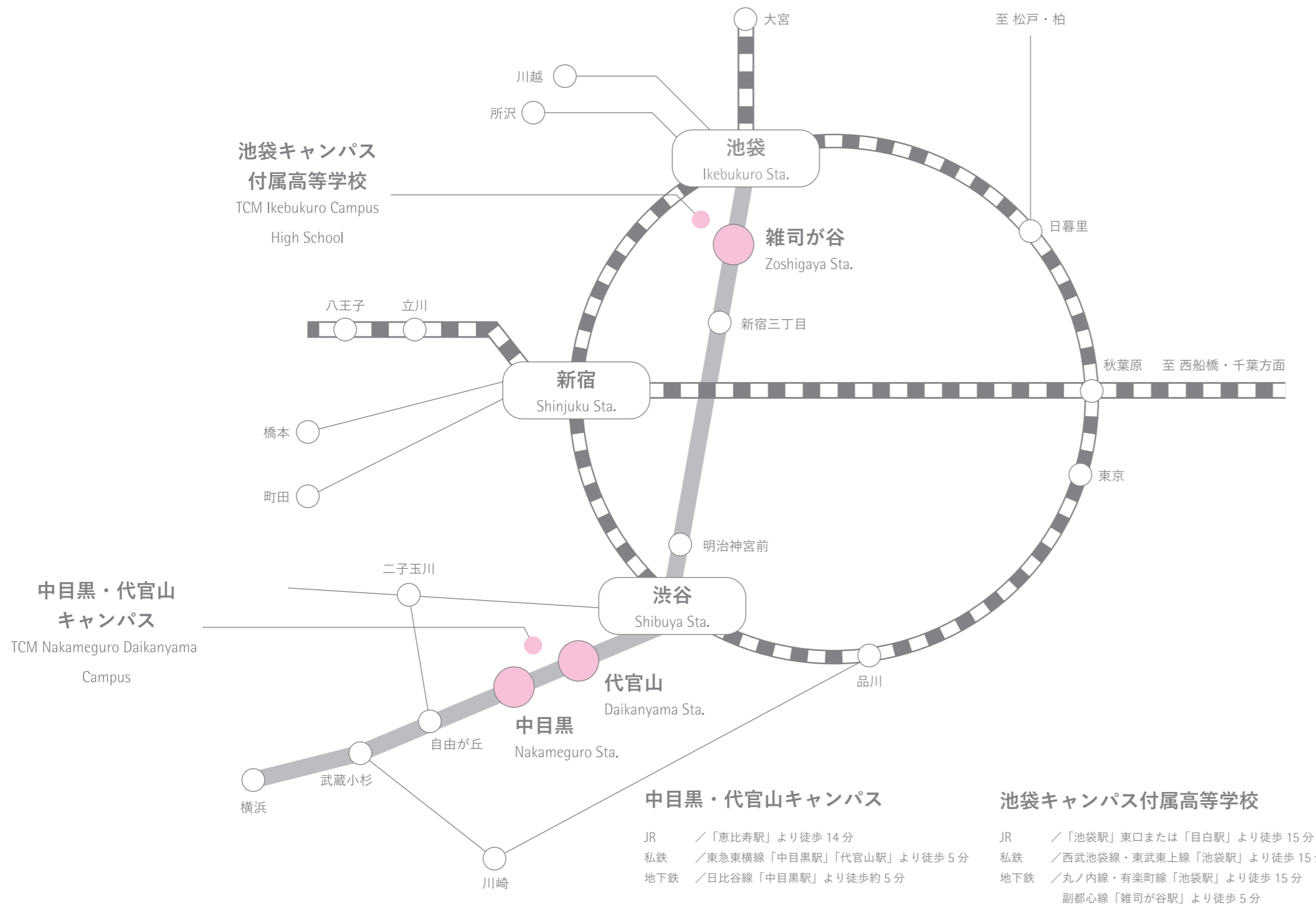
Open Events

東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス
Tokyo College of Music Nakameguro Daikanyama Campus



東京音楽大学 池袋キャンパス
Tokyo College of Music Ikebukuro Campus





TCM
 Tokyo College of Music High School
 東京音楽大学付属高等学校

〒171-8540
 東京都豊島区南池袋 3-4-5

Tel. 03-3988-6214 Fax. 03-3982-9273
 Mail. fuzoku_koko@tcm-koko.ed.jp
 Web. https://tcm-koko.ed.jp



ACCESS